

埼玉県多文化共生推進プラン（H29～R3 年度）の概要

1 計画の目標

日本人住民と外国人住民が地域社会を支え、共に歩む県づくり

2 計画の期間

平成 29 年度から令和 3 年度まで（5 年間）

3 計画の主なポイント

- (1) やさしい日本語の普及や日本語を母語としない子供の就学支援など外国人住民の自立と社会参画を促進する。
- (2) 高度な専門知識や技術をもった外国人材の活用や、外国人留学生の県内企業への就職を支援するなど多文化パワーの受入れを促進する。
- (3) 東京 2020 オリンピック・パラリンピックをはじめとする国際大会の開催を契機とした新しい取組を推進する。

4 計画の指標

指 標	現状値	目標値
外国人の支援・案内を行うボランティアの登録者数	4,597 人 (H27 年度末)	9,000 人 (R3 年度末)

5 施策の展開

I 誰もが暮らしやすい地域づくり ～次代を担う人材の育成～

- 1 日本で暮らすための言語・ルール・情報の提供
- 2 外国人児童生徒に対する教育支援
- 3 安心・安全な暮らしの確保

II 多文化パワーの受入れ ～高度人材が集まる環境づくり～

- 1 埼玉の魅力発信
- 2 留学生の誘致促進
- 3 県内企業への就職支援

III 共に輝き活躍する地域づくり ～東京 2020 オリンピック・パラリンピックをはじめとする国際大会の開催を契機とした多文化共生の社会づくり～

- 1 外国人観光客へのおもてなし
- 2 大会に向けた多文化理解
- 3 大会後のレガシーとしての地域活動への参加促進

埼玉県多文化共生推進プラン(平成 29 年度～令和 3 年度)の

評価について

1. 基本指標について

基本指標

「外国人の支援・案内を行うボランティアの登録者数」

現状値 4,597 人 → 目標値 9,000 人(7,000 人※)
(平成27年度末) (令和3年度末)

年度	H28年度末	H29年度末	H30年度末	R元年度末	R2年度末	R3年度末
人数	4,883	6,182	7,441	8,769	9,067	9,010

※プラン策定当初は 7,000 人としていたが、期間中に目標値が達成されたため、令和2年2月県議会に係る議案第46号の議決を経て、令和2年3月27日に目標値を 9,000 人に変更した。

埼玉県多文化共生推進プラン（R4～8 年度）の概要

1 計画の目標

日本人住民、外国人住民が共に日本一暮らしやすい SAITAMA づくり

2 計画の期間

令和 4 年度から令和 8 年度まで（5 年間）

3 計画の主なポイント

- (1) 多言語での情報提供や日本語学習の支援などによる誰もが暮らしやすい地域づくりの推進
- (2) 外国人住民の意見を施策に反映させる機会を設けるなど地域社会への参画支援と外国人住民が活躍できる地域づくりの推進
- (3) やさしい日本語の普及などによる相互理解の促進と日本人住民と外国人住民が協働する活動の推進

4 計画の指標

指標	目標値 (R 8 年度末)
多文化共生を推進する人材の育成数	5, 000 人

5 施策の展開（3つの主要施策、10の取組）

主要施策	取組
1 誰もが暮らしやすい地域づくり	(1) 地域で暮らすための情報提供 (2) 日本語教育の推進 (3) 外国人児童生徒への教育支援 (4) 安心・安全な暮らしの確保
2 外国人が活躍できる地域づくり	(1) 外国人住民の社会参画支援 (2) 多文化共生の場づくり (3) 外国人住民が担う地域活性化の推進
3 認め合い共に生きる地域づくり	(1) 多文化共生の理解促進 (2) 多文化共生の場づくり（再掲） (3) 共に県民の一人として協働する活動の促進